(驛遞局認可)　(日曜日休刊)　(定價金二錢)

時事新報

第千五百五十六號
明治二十年四月七日　木曜日
舊丁亥三月十四日　(壬寅)
日出午前五時四十分　日入午後六時二十五分
月出午後五時十九分　月入午前五時零一分
滿潮午前四時三十四分　午後五時零分
(西曆一千八百八十七年)

時事新報定價
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

洋酒は純精ならざるもの多し　第二(昨日の續)

昨日の紙上すでに葡萄酒の純否を吟味するの法に就て記載したれば之にブランデー酒の試驗法を擧げんに酒中に煙草薬のニコチンと合むときは熟練のものは其臭に由りて容易に發顯すべし又此酒にも其口當りを強くするが爲めに辛味の質を加ふることあり之を吟味するにはアルコール分を蒸發せしめて其辛味の獨り跡に殘るを見て知るべし又銅製酒器の不潔なるが爲めにブランデー酒中に銅分を含むことあり之を吟味せんには二三の試驗法あり其一は銅分の甚だ多からざるものは酒中のフーセル油と和合して粉末或は汚緑色の魚眼となりて自然に分離するが故に之を漉して殘物のアルコール分を蒸發せしめ吹管の試驗にて容易に發見すべし其二は酒中に硫化水素瓦斯を通ずれば褐色の沈澱を生ずるを以て知るべし其三は酒中の銅分極少にして前兩法の容易に發顯を得ざるものと雖ども黄色血鹽を滴加すれば赤帯褐色の沈澱を生ずるを以て其銅分あると證すべしと云ふベルセリユース氏の曰くブランデー酒を製造するとき鍋中に亞砒酸を投じて共に蒸溜するは酒造家の往々にして爲すみとなれども斯の如くする以上は酒中に亞砒酸の痕跡を存するは勿論にして之を慘酷不人の所爲と稱すべきのみと今其の混物を吟味するには酒中に鹽酸を加へて後ちアルコール分を蒸發せしめ更に硫化水素を通ずれば自から濁るを以て其砒分あるを證すべし

ブランデー酒にシヤノゲニユーム瓦斯(これに水素の化合せざるもの即ち青酸なり)を通ずることあり若しも酒中に此混物あるを疑念するものは其酒を蒸溜すべしシヤノゲニユームはアルコールよりも揮發するみと容易なるが故に蒸溜を得たるものにはシヤノゲニユーム自から濃厚なるべければ脂油を以て之を分離せしめ水と共に蒸溜し尚注意して化學的の試驗法を爲さば其本分を知ると難からず佛國上等のブランデー酒はチードウイーと銘して世界に有名なり是れ永く樽桶に貯へたるが爲めにエキストラクト、タンニン、色分などを浸出して黄帯褐色を顯はし終に醋酸エーテル及びウナントエーテルを含むが爲めに優等の香味あるものなれども酒造家は之を贋製すること多し其贋製法は諸種のアルコールにしてフーセル油なきものに醋酸エーテル一二グラムを一瓶毎に加へて之に燒砂糖を混ずるを常とす今その贋否を吟味せんには先づアルコール分を蒸發せし先て次て鐵鹽の溶液を加ふるに正銘のものは黒色を發すれども贋造のものは之を發せず然るに酒造家の狡猾なる此試驗法を免れんが爲めに贋造品に少量のタンニンなどを加へ鐵鹽の溶液に逢ふて黒色を發せるの手段を運らすものありと云ふ

次ぎに舶來の飲食品を吟味するの方法を擧ぐれば牛酪(バタ)に酸化鉛或は炭酸鉛を加へたるものゝ如きは熟練ある人の舌頭にて能く發顯すれども別に又試驗法あり牛酪を火に上せて溶解し數分時の間これを搖動して止まざれば鉛分は重くして沈むが故に之を冷やして底の部分を鐵板上にて燒き硝酸に溶解し尚硫化水素を通ずれば褐色の沈澱を生ずるを以て證すべし又牛酪の色を付るには通例鬱金(キヨウコン)根或は可溶性の色分を用るものにて水を牛酪に加へて煮ること數分時間なれば色分は水に溶解して分離するが故に牛酪の元來白色なるものは即ち其本色を顯はすべし食酢の純否を知らんには先づバリユーム鹽類の溶液を滴加するに若しも白色の沈澱を生ずれば即ち硫酸を含めるなり又アルカリの溶液を食酢に混じて中和せしむるに若しも辛味の物あれば跡に殘ると常とす又蜂蜜に澱粉を含むときは水を以て之を薄むるに澱粉の器底に集まるを見るべし

右の如く洋酒其他舶來の飲食品には大概贋製の法あらざるものなけれども亦之を吟味するの法あるが故に我輩は已むを得ず之を飲食する人々には一度相當の吟味を遂げたる後ち最早有害ならざるを證明して買求むることを勸めんと欲すれども此吟味の法は迚ても理化學的の思想なきものには出來難かるべく且仮令へ之を爲し得るにもせよ同一の器に盛り同一の札を張り且價値と云ひ色合と云ひ毫も異ならざるも其中には有害のものあり亦無害のものあれば[illegible]器試驗法を施すの外なくして到底これこそ無害なりと信じて飲食するの日なきは勿論なれば方今の世の中何も角も滋養とか衛生とか稱して種々の法律規則もあることなれば洋酒其他舶來の飲食品に就きても之を飲食する人々が安心する程の仕組ありたきものなり

(畢)

官報

○非職者任用旅費の儀に付き照會　去る一日北海道廳より非職の者の赴任旅費は規則第十一條に據るか又は第十三條に據り支給し然るべきやと大藏省へ照會したるに同四日同省主計局より非職官吏は客年閣令第一號第三條により任所に居住すべき責あるを以て復任若くは他廳へ轉任の場合も旅費規則第十一條に據らず本人現住地より單に通常旅費を支給する儀なりと回答せり

○七箇年兵員据置法　獨逸國陸軍擴張案即ち七箇年兵員据置法案の帝國々會に於て可決せられたる旨は本年三月十四日の本欄電報中に記載せしが同月十二日及十四日の桑港新聞(ル、フランコ、カリフヲルニヤン)に其詳報掲載せるを以て左に之を抄出す

ビスマルク侯は今九日國會に於て最大なる勝利を得たり即ち七箇年兵員据置議案は第二讀會に於て大なる多數を以て可決せられたり此外ビスマルク氏は感嘆すべき策略を以て終に中央黨員と改進黨員とを分離せしに中央黨員は其勢の微弱を示さんことを恐れ投票に方りて可否を言はず國會議員男爵フオン、フランケンスタインは中央黨員は兵員据置期限の三箇年たらんことを希望せしが今や其少數なることを感じたれば討議にも又議決にも與からざるべき旨を報告せり

又加特力黨の首領たるアンデベル氏は其黨員と倶に七箇年据置に係る法案を可決すべき旨を報告し國會議員バンベルゲル氏は中央黨員の分裂即ち一は可否を言はずと宣言し一は原案を賛成せるの分裂に乘じ痛く公爵ビスマルクを攻撃し大に國會議場の喧騷を惹起せりビスマルク氏及其他の内閣員は國會議員が大聲を發してバンベルゲル氏の公言を嘲り之を妨ぐるに方りて議場に入りビスマルク氏は今回議員選擧の結果は國民が七箇年議案の可決せられんことを希望するの意に出でたるにあらずして其開戰を恐懼するの意より出でたる旨を述べ至大なる多數を占め反對說は全く破碎せられたり

七箇年兵員据置議案は今十一日討議なく帝國々會の第三讀會を通過し三十一名に對する二百二十七名の多數を以て可決せられたり此際議員八十四名は可否を言はず保守黨員國民自由黨員及中央黨員若干名は多數を以て該案を可決せり而して少數はエルザス人、新獨逸人、及社會黨員に在り

七箇年兵員据置法は今十二日官報を以て公布せられたり本法は來る四月一日より實施の筈にして其要旨は新大隊を以て各聯隊の第四大隊を編成する事、鐵道兵員四小隊即ち巴威里人二小隊及撒遜人並に瓦敦堡人二小隊を新たに編成して之を以て伯林聯隊の第三大隊と爲す事に在り而して本法のため平時に於ける兵數の增加せるは都合十四万五千八百あり

(以上本年四月六日官報)

雜報

○福島民間の狀況　岩代國福島通信員より該地及び近在五個村の民間狀況を通報したる書中に農民大工左官などの賃銀は年々漸く高く料理芝居興行物などの流行も年々漸く盛にして質屋の如きも明治十八年には質物一萬圓に付流質三千圓、十九年には質物一萬圓に付流質千五百圓なりしが今春は受出しもの割合に多く質屋亦上景氣なり斯く當地方が世間一般の不景氣に視れたるは畢竟する所生糸ある蔭と云ふの外なく併し財産家にして蠶業に關係せざるものは年々其歳入を減じ地價は騰貴すれども利子は下落し且小作人が小作米を拂はぬものの甚だ多く國税及び地方税を上納せずして公賣處分を受けたるは明治十八年に二百三十二戸、十九年に二十七戸なりしと云ふ

○沖繩大島の砂糖　大坂商船會社の汽船朝日丸は去月二十一日沖繩を出帆し同所より黒砂糖四樽鹿兒島縣下大島より同品千百樽を搭載して同二十八日夜大坂へ歸着せしが右の内沖繩より積み來りたる分は本年の初荷にて大島よりは二番荷なるが例年沖繩より産出する砂糖は凡十四五萬樽に下らず大島及び其屬島より産出する高は七萬樽位の由なるが昨年は夏より秋の交に掛けて兩地とも風災又は旱損の爲め大に不作を來し殆んど半作の有様なれば砂糖を以て生活を立る人民は大に困難の域に陷り就中沖繩の如きは砂糖を以て租税を上納する處なれば第一貢糖第二勸業糖第三賣糖と唱へ凡十四五萬樽製糖する内右貢糖凡二萬樽勸業糖凡二萬樽は是非上納せざるを得ず勸業糖なる物は勸業課より肥料其他の費用を借受けたる方へ償却の爲め上納する物にて賣糖は農民の所得なれば勝手に賣拂ふことを得るものなるが昨年の如き不作に際しては右第一第二の砂糖を引去るときは凡十四五萬樽の内僅に三萬樽位の賣糖を餘すのみなれば本年は二種の上納糖丈けの製造は濟みたるも賣糖は未だ初荷を積出す場合に至らずして僅に四樽丈を見本として積來りたるものなりと又之に反して大島は納税は總て金納なるを以て砂糖は出來次第に積み送るの例なるが故に此度二番荷は大坂に到着するに至りたるものなりと大坂通信に見へたり

○勸業會と赴任　去月二十八日日向宮崎發の信書に昨二十七日勸業會第三回大集會を本縣會議事堂に於て開會し出席員は六十名にして馬種米穀商業の改良方法の問題に係る談話をなしたり又本縣新任の書記官池田德潤氏は去る三十一日着縣したりとあり

○米國コロラード通信　二月四日發

米國の鑛山　米國三十八州及び十屬地中最も多量の赤銅を産する地はミシガン、ミゾレ、イリノイズ、アイオワ等の諸州にして鉛鑛を多く産するはミシガンあり石炭は大抵ペンシルバニヤ、マリーランド、ビルヲニヤ、キヤンザス、ネブラスカ、コロラード地方に仰き當時石炭開鑛の地は殆んど十六萬方英里の多きを占む先チバタ、コロラードは重に金銀の鑛山に富み其大さ殆んど合衆國の銀鑛山の二分の一に當ると云ふ○牧畜の景況　從來米國にて牧畜塲を圍ふには板を用ひしが今より十五年程前にスムースワイア(smooth wire)と稱する電信の線を二つ捻りにしたるものを以て圍ひに代用する事を發明せしが追に其目的を達する能はず其後五年程を經て從來の線に五六寸づゝ隔て刺を付けたる線を張ることを發明したる人ありしが此發明は板れ柵に勝るのみならず牧畜家に

非常の利益を與へ是迄
僅か二十圓か二十五圓
力をも非常に減ずるを
板と用ふる者あるに至
重なる者はノーマン(
ポチー(Pony)ミユー
の子)等にて第一種の
大なる馬にて其重さ二
チ許ありと云へり此馬
の如き速歩と要するも
は耕作等の力業に用ゐ
二英寸位にして此馬種
も重み馬車又は競馬よ
チーは三種の中最も小
力量速力共に三種中の
良馬を買ふ能はざる者
はポチーは白人始て米
來りしものなるが其頃
て白人多く之が爲に殺
後野に放ち次第に化し
と云へと信偽明かなら
一箇月にして生れ三年
最も強壯となり十年に
るを通例とし廿五六よ
れ方にして最も長生し
云ふ牡馬は大抵一歳位
より六七箇月以上にて
と云ふ○牛種中多量に
ショーシエと稱する者
體格最も大なる種の
の者にして百五十貫目
四歳に充たざるを若牛
上ふして睾丸を切り之
農業器は數種ありし
ーロー(Harrow)シーヴ
vester)レーキ(Rake)脱
は種々なれども畠を掘
と三頭牽きの物とあり
腰を掛け只た馬を指揮
ークル半を掘ると云へ
へ土を蓋ふ器械にて
車の並びたるものにて
るの用をなすものあり
馬車の如く腰掛の下に
き廻れは種子はその
るものなり收納器の
收納器の二種とす鋼
は即ち二頭牽きにて器
にて束ぬるものあり
て何れも一日十六エー
器にも二類ありて此器
十九エークルを刈ると
のと馬と使ふものとの
牽きにて五六人の入わ
ふき、俵詰を込めて一
問)四百俵の仕事とな
豆にても器械の成る
レーキは二頭牽のもの
類寄を一處に集むる
五エークル位を集め